

研究・調査報告書

分類番号	報告書番号	担当 佐久間寛之
A-169	24-406	独立行政法人国立病院機構さいがた医療センター 佐久間寛之 独立行政法人国立病院機構久里浜医療センター 松下幸生
題名 (原題/訳)		
Adverse Childhood Experiences Are Associated With History of Overdose Among Patients Presenting for Outpatient Addiction Care 依存症外来を受診した患者における小児期逆境体験と過量服薬歴との関連		
執筆者		
Takgbajouah M, Barnes N, MacKillop J, Murphy JG, Buscemi J.		
掲載誌		
Exp Clin Psychopharmacol. 2023 Dec 21. doi: 10.1037/pha0000703.		
キーワード		PMID
依存症外来、小児期逆境体験、物質使用障害、オーバードーズ		38127517
要 旨		
<p>目的: 小児期逆境体験 (ACE) は、メンタルヘルスや薬物使用と関連している。物質使用障害があると過剰摂取 (OD) のリスクが高まる。ACE と OD リスクに関する研究は限られている。本研究では、依存症および精神科外来の患者を対象に、ACE スコアと自己申告による OD 歴との関連を検討した。</p> <p>方法: 本研究は単一施設での横断的デザインにより、2017年11月から2020年8月にかけて、依存症と精神疾患の重複障害の外来治療プログラムに参加している成人を対象とした。患者 (N=115) は、ACE と OD 歴を含む自記式の調査票で評価された。二変量および多変量ロジスティック回帰を用いて、自己申告による OD 歴と関連する因子を決定した。ACEs 尺度の信頼性と妥当性を評価した。</p> <p>結果: 115名の参加者のうち、26名 (22.6%) が受診時に過去の OD を報告した。OD 歴のある参加者の平均 ACE スコアは、OD 歴のない参加者と比較して、4.0 (標準偏差、2.7) 対 2.3 (標準偏差、2.2) であった。多変量回帰では、ACE スコアが高いほど OD 歴と関連していた (調整オッズ比、1.23 ; 95%信頼区間、1.00-1.50 ; P = 0.0456)。</p> <p>結論: OD と高い ACE スコアとの間に観察された関連性を考慮すると、外来の重複障害クリニックで治療を受ける患者は、ACE と OD 歴のスクリーニングを受けるべきであり、トラウマに配慮した治療や適切なサービスへの紹介の機会を提供すべきである。</p>		